

労災死亡事故が3件発生しました。

☆死傷災害は40名(-10.5%)減少し340名となっています。



神奈川県労働局の集計によると、令和5年6月末(1月1日から6月30日)における県内の陸運業の労働災害発生は令和4年同期と比較し次のとおりとなっています。

- 死亡災害は 道路貨物運送業で3件発生しています。(前年同期は0件)
- 死傷災害は 道路貨物運送業では40名(-10.5%)減少しており、陸上貨物取扱業では26名(-21.0%)減少となっています。

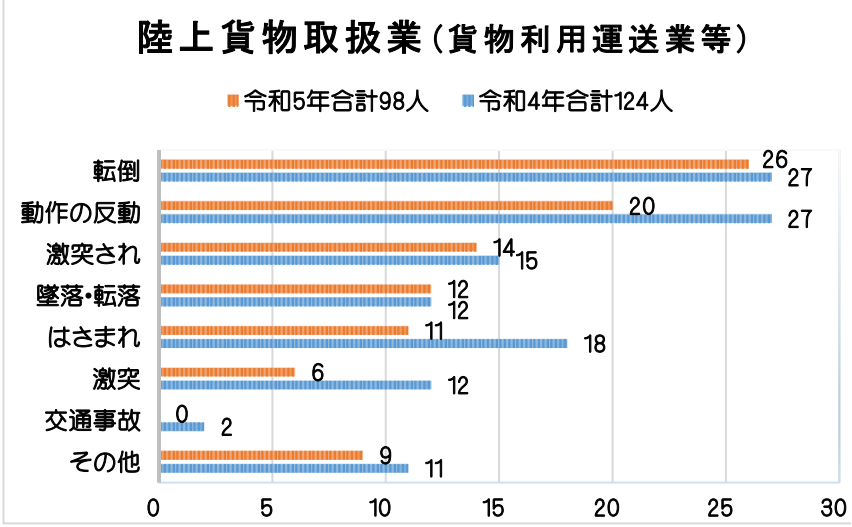
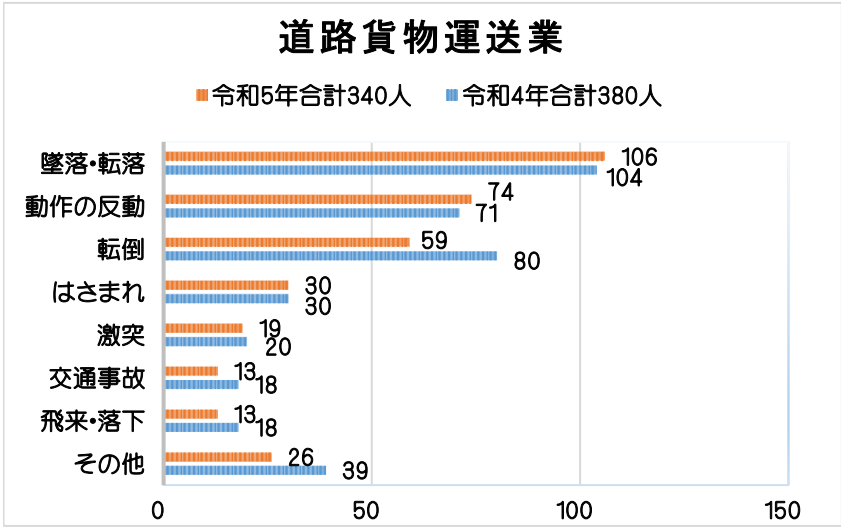
死傷災害とは、死亡災害と4日以上休業災害を合計したものです。

1. 概況(神奈川県内) 道路貨物運送業・・・(事故の型ワースト6+交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動(腰痛等)	転倒	はさまれ・巻き込まれ	激突	交通事故	飛来・落下	その他	合計
発生件数	106	74	59	30	19	13	13	26	340
対前年増減	+2	+3	-21	±0	-1	-5	-5	-13	-40
同上増減率	+1.9%	+4.2%	-26.3%	0.0%	-5.0%	-27.8%	-27.8%	-33.3%	-10.5%

◎ 年々増加していた労災事故が減少に転じたことから、今後も減少傾向が継続するよう荷役作業を中心にあらゆる対策を講じましょう。
特に労災死亡事故を撲滅しましょう

2. 各業種の概要



- ☆1 昨年同期に比べ-10.5%(-40名)減少して340名となっている。

☆2 墜落・転落が106名と相変わらず多く発生している。

☆3 転倒災害が-26.3%(-21名)と減少している。
- ※1 昨年同期に比べ-21.0%(-26名)減少して98名となった。

※2 はさまれが-38.9%(-7名)と大幅に減少している。

※3 転倒災害が26名と多く発生している。

3. 死亡災害発生概要(陸上貨物運送事業関係) 陸災防神奈川県支部収集

番号	発生地	月時刻	事業の種別 労働者数 職種	起因物 事故の型	発生概要
1	厚木市	1月 11時頃	道路貨物運送業 10~29名 運転者	トラック 墜落・転落	50歳代後半の中型トラック(ウイング車)運転者が、荷積み先の倉庫で片側のウイングとあおりを開放して荷積み準備を終え、荷台を後ろ向きに歩行中、約1メートル下の地面に墜落した。
2	東村山市	5月 9時頃	道路貨物運送業 30~49名 運転者	トラック はさまれ 巻き込まれ	タンクローリーが産業ガス納入先に到着後、産業ガス注入区画開錠のため50歳代前半の運転者が下車中に、無人の同車が傾斜のある駐車場で後進を始めた。運転者が駆け寄って停止を試みたが、同車と駐車場の壁の間にはさまれた。
3	南足柄市	5月 15時頃	道路貨物運送業 30~49名 運転者	フォークリフト 墜落、転落	60歳代前半のトラック運転者が配送から戻り、荷台の空パレットを運び出す準備として、リーチフォークリフトを運転してプラットフォーム上から地上のトラック脇まで移動の際、プラットフォームからの下りスロープを後進中に脱輪して35センチメートル下の地面に同車ごと落ち、同車の下敷きになった。

